

室蘭市ごみ処理・リサイクル事業あり方検討委員会について

1. 委員会設置の経緯

- ・将来的な人口減少に伴う市税収入への影響が予測されるなか、公共施設の老朽化対応など、市の財政運営にとって今後も厳しい状況が見込まれている。
- ・こうした状況に対応するため、市では「室蘭市行政改革プラン 2016」（平成 29 年 3 月策定。以下「行革プラン」）に基づき、各種事務事業の見直しなどを行っている。
- ・ごみ処理・リサイクル事業についても、新たなごみ処理施設の整備にあわせて、収集運搬を含めたごみ処理のあり方や、リサイクル事業のあり方などについて、歳入歳出両面から将来にわたって持続可能な仕組み作りを検討することとし、行革プランの取り組み項目として追加したものの。

<行政改革プラン 2016 とは>

平成 28 年 3 月に作成した「財政の見通し」における 2021 年度末の累積収支不足額、約 18 億円の解消や職員数の適正化を目標として、行財政基盤の強化や市有財産のスリム化、行政サービスの利便性向上、事務事業の構造的な見直しをすすめる計画

2. 主な検討内容

- ・ごみの減量及びリサイクルのさらなる推進に関すること
- ・ごみ収集に係る課題（ごみステーションの集約化、収集作業員の確保など）に関すること
- ・ごみ処理に係る経費の圧縮及び手数料の適正化に関すること

3. 検討スケジュール（予定）

第 1 回検討委員会（令和元年 6 月 28 日）	ごみ処理・リサイクル事業の現状と課題について
第 2 回検討委員会（令和元年 9 月頃予定）	市民アンケート結果、課題解決に向けた検討
第 3 回検討委員会（令和元年 11 月頃予定）	ごみ処理・リサイクル事業の見直し案の精査
第 4 回検討委員会（令和 2 年 3 月頃予定）	